

令和3年度

管内概況書

上伊那地域振興局

令和3年度上伊那地域振興局 管内概況書 目次

管内の概況

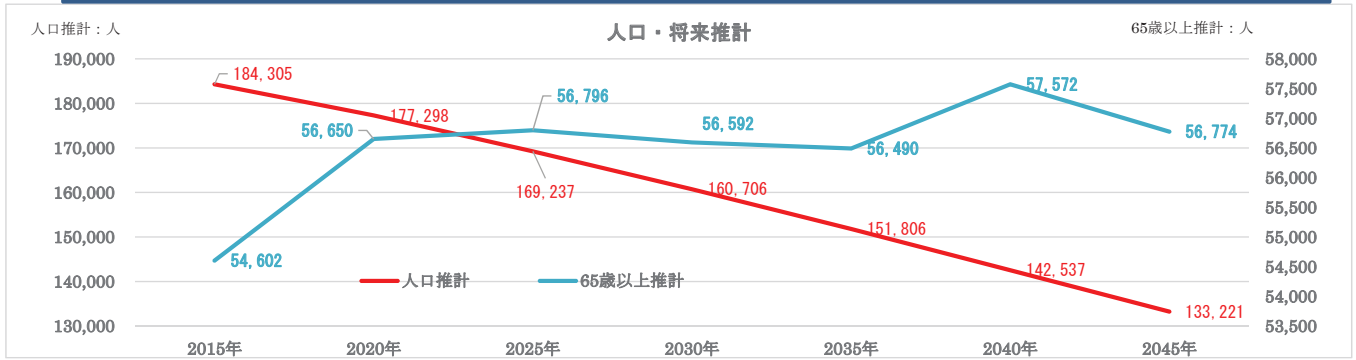
概況	1
統計データ		
1 人口	2
2 産業	2

上伊那地域振興局各課の概況

総務管理課	5
企画振興課	7
環境・廃棄物対策課	9
農地整備課	11
林務課	13
商工観光課	15
農業農村支援センター	17



上伊那地域振興局管内概況



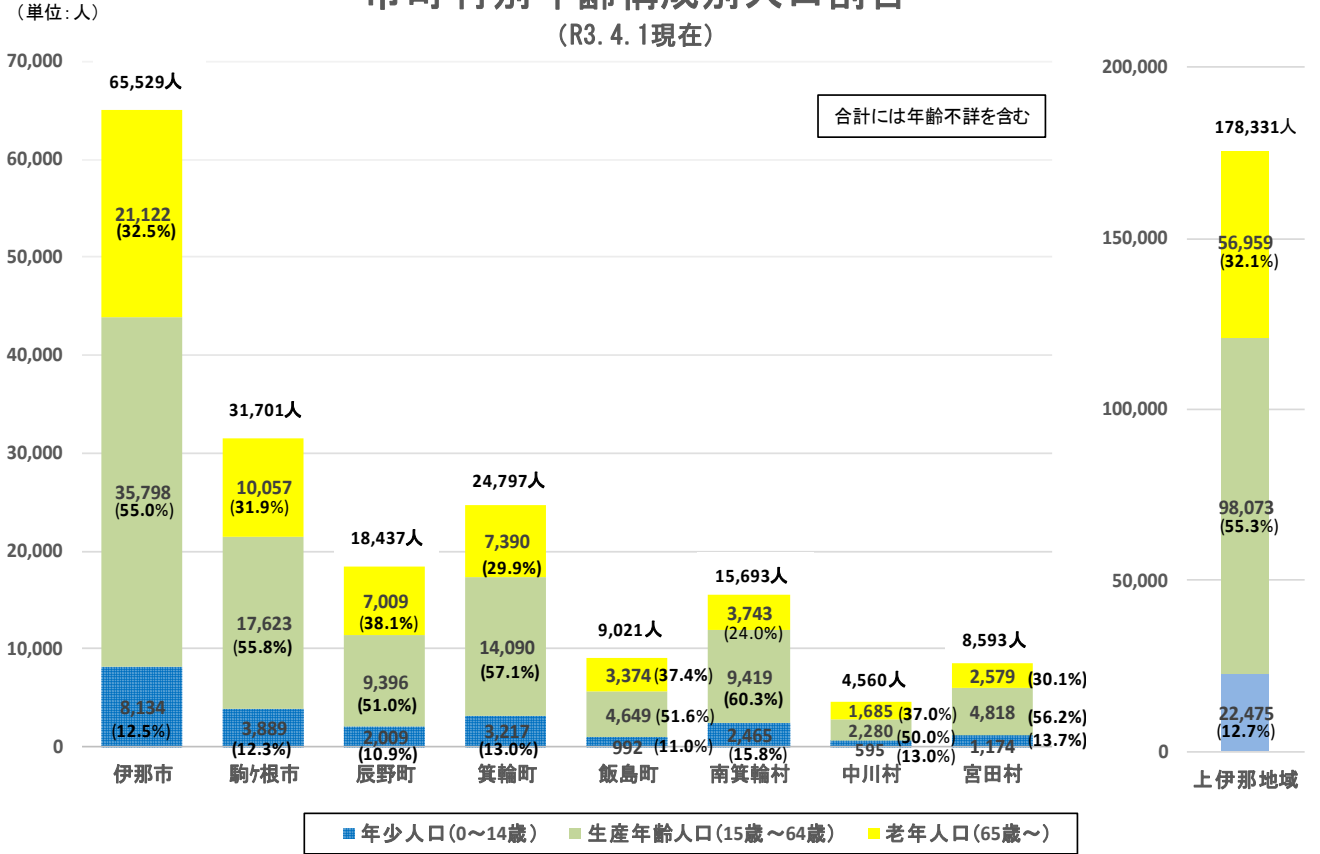
上伊那地域における「つながり人口」の拡大が必要



1 人 口

市町村別年齢構成別人口割合

(R3. 4. 1現在)



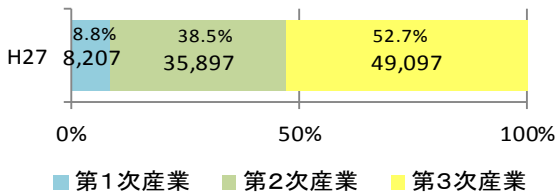
2 産 業

(1) 就業人口

産業別就業者構成：上伊那

(平成 27 年)

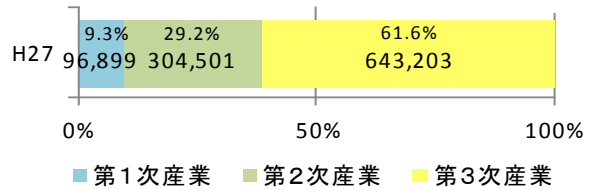
単位：人



産業別就業者構成：長野県

(平成 27 年)

単位：人

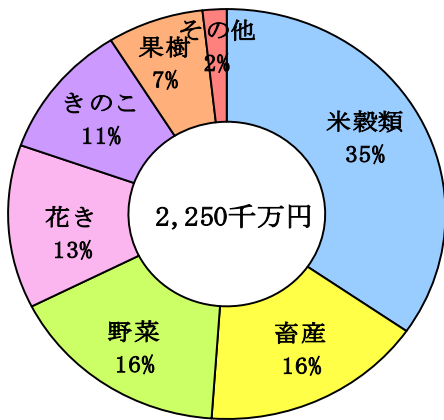


(出典：「国勢調査(都道府県・市区町村別統計表)」)

(2) 農業

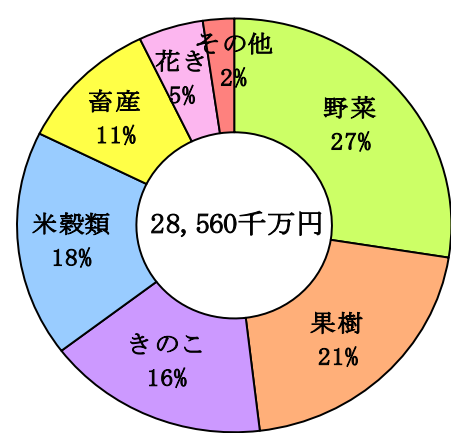
農業産出額の状況：上伊那

(令和元年)



農業産出額の状況：長野県

(令和元年)

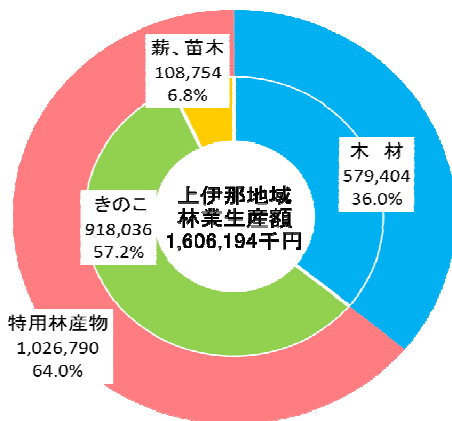


(出典：農政部調)

(3) 林業

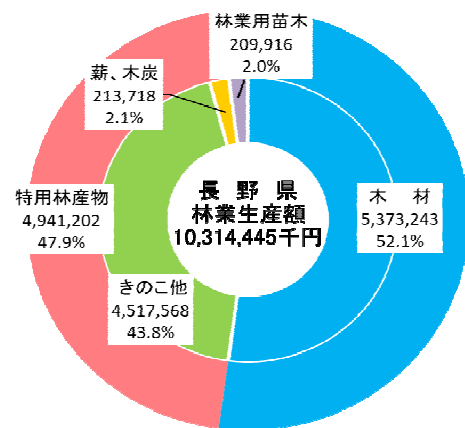
品目別林業生産額：上伊那

(平成30年度)



品目別林業生産額：長野県

(平成30年度)



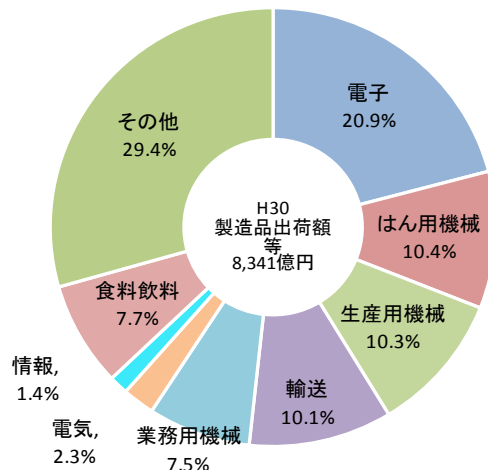
(出典：林務部調)

(※上伊那の林業用苗木の生産額は対象が個人1者のため統計数値を非公表とした)

(4) 工業

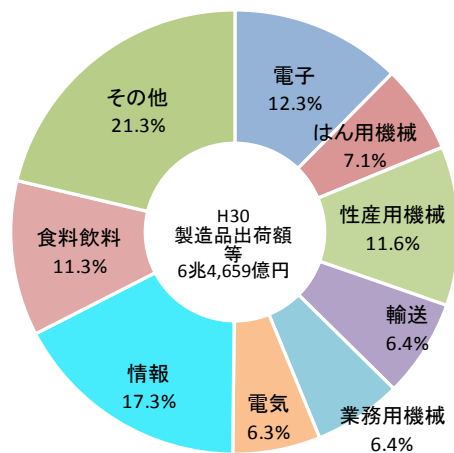
業種別製造品出荷額等：上伊那

(平成30年)



業種別製造品出荷額等：長野県

(平成30年)

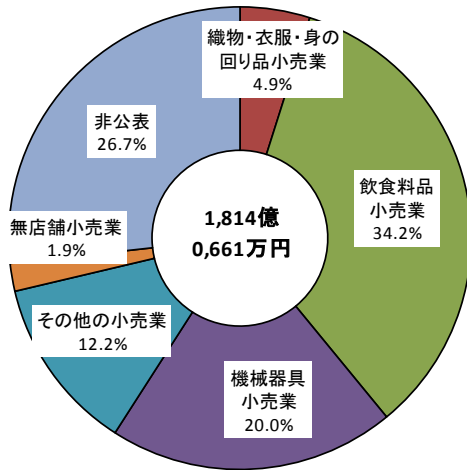


(出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」)

(5) 商業

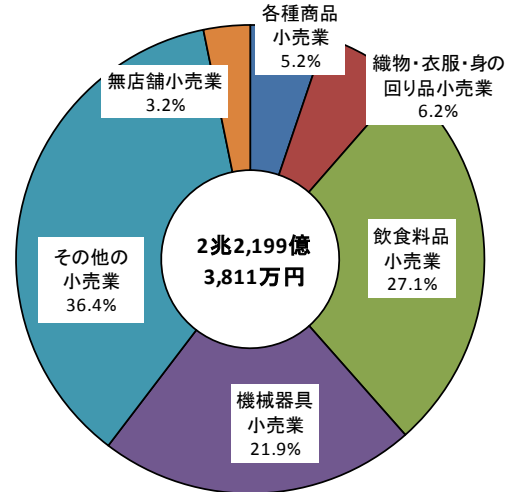
小売業年間商品販売額：上伊那

(平成 28 年)



小売業年間商品販売額：長野県

(平成 28 年)

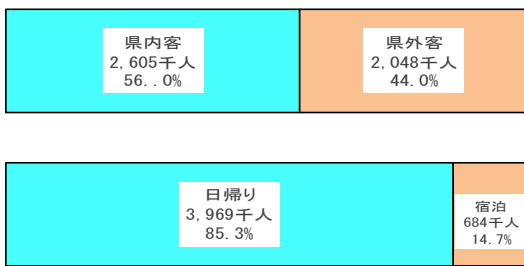


(出典：総務省統計局「商業統計調査結果」)

(6) 観光

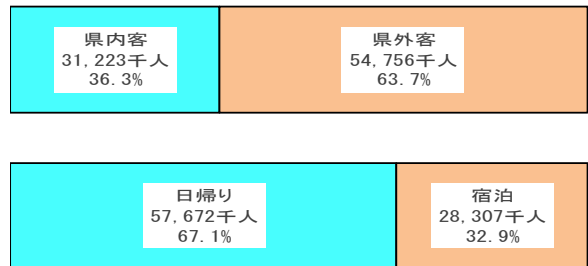
観光地利用者の状況：上伊那

(令和元年)



観光地利用者の状況：長野県

(令和元年)



(出典：観光部「観光地利用者統計調査」)

1 庁舎・職員宿舎の状況

令和3年4月1日現在

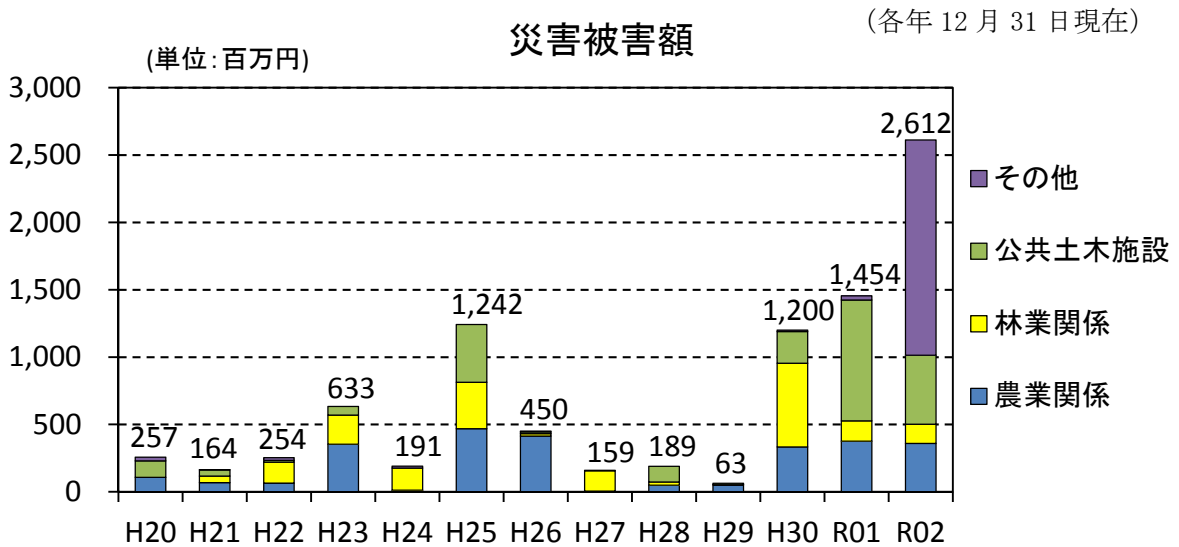


※職員宿舎入居率 71.4% (単身用100%、世帯用100%、独身寮44.8%)

2 災害発生状況

令和2年7月の豪雨では、伊那市及び宮田村に災害救助法が適用されるなど、伊那市長谷の山地被害を中心に農林水産業施設、公共土木施設等で計26億円程の被害が発生しました。

近年では、梅雨前線による豪雨災害などにより年間被害額が136億円となった平成18年に次ぐ被害額でした。



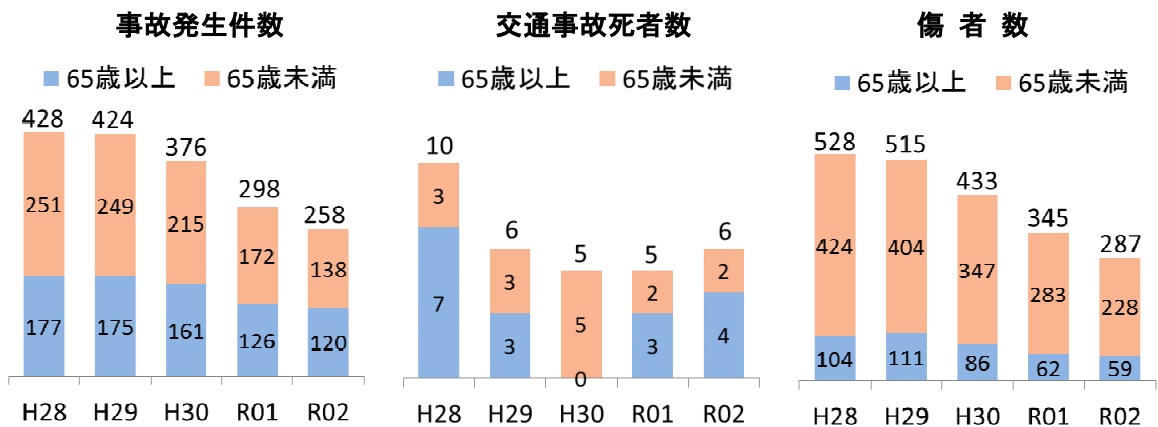
出典：危機管理部「長野県の災害と気象」

3 交通事故発生状況

令和2年の交通事故は、258件（前年比40件減）、死者数6人（前年比1件増）、傷者数287人（前年比58人減）でした。

県内で発生する死亡事故は、時間帯は夕暮れ時から夜間にかけて、状態は歩行中、年齢層は高齢者が多いという特徴があるため、季節に実施する交通安全運動では、早めのライト点灯や高齢歩行者に対して反射材の利用を呼びかけ、事故防止の徹底を図っています。

(各年12月31日現在)



(出典：県民文化部「事故統計」)

1 上伊那地域計画（平成30年度～令和4年度）

めざす姿	リニアの時代へ 世界とつながり豊かな暮らしが営まれる伊那谷 (INA Valley)
地域重点政策	<ul style="list-style-type: none"> ■ “伊那谷らしく” 豊かで活力に満ちた暮らしづくり ■ 伊那谷の未来を担う人づくり ■ 二つのアルプスを活かした交流圏域づくり ■ リニア開業を見据えた伊那谷 (INA Valley) づくり

2 上伊那地域の横断的な課題（令和3年度）

横断的な課題	施策の柱
リニア中央新幹線の開業を見据えた地域づくり 【観光地域づくり】	リニア中央新幹線とのアクセスの確保
	二つのアルプスをはじめとする伊那谷の豊かな地域資源の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活を観光資源として磨き上げた伊那谷ブランドの構築 ・ 広域連携の推進
	リニア開業を見据えたつながり人口の拡大
	先端技術等を活用した地域活力の創出
上伊那地域の未来を担う人づくり	地域の産業を担う人材の育成・確保
	地域に学び地域を支える人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 産学官が連携したキャリア教育の推進 ・ 地域の高等教育機関と連携した人材育成の推進
	地域らしさを活かしたグローバル人材の育成
伊那谷の豊かな地域資源を活かした循環社会づくり 【ゼロカーボンの推進】	CO2 吸収効果の拡大に向けた豊かな森林づくりの推進
	地域資源を活かした再生可能エネルギーの活用促進
	循環社会づくりを目指す住民意識の醸成

3 地域振興推進費（令和2年度）

事業名	事業概要
高速バス利用促進実証実験事業	高速道沿いのバス停と市街地の間にアクセス手段（タクシー）を提供し、みずずハイウェイバスの利用促進効果を検証
JR 飯田線ビュースポット集作成事業	前年度開催したフォトコンテスト作品を活用し、沿線ビュースポットのパンフレットを作成【南信州地域振興局連携事業】
e-BIKE を活用した三次交通実証実験事業	リニア時代の三次交通を見据え、スポーツタイプの電動自転車を乗り捨て利用できるモニターツアーを通して課題を検証
上伊那地域ユニバーサルツーリズム推進事業	コロナ後を見据え、障がい者や高齢者の受入機運を高めるため、観光事業者を対象にセミナーと疑似体験会を開催
リニア新時代に向けた広域観光の推進事業	伊那路、木曽路が連携した広域観光を推進するため、3地域の観光資源を分析【南信州、木曽地域振興局連携事業】
農業を「関わりしる」としたつながり人口創出実証実験事業	辰野町川島地区をモデルに、都市住民がソバの特産化等の地域課題に取り組むことによるつながり人口を創出する手法を検証
地域の先端技術産業を学ぶ体験学習事業	若者が林業に夢を描くきっかけをつくるため、高校生を対象に、ドローンを活用したスマート林業の体験講習会を開催
INA Valley 産業支援ネットワーク活動推進事業	日常生活動作支援（ADL）産業の集積を促進するため、定期的な情報交換会や勉強会等を開催
若者人材育成（U・Iターン就職促進）事業	Uターン就職を促進するため、地元就職説明会をオンラインで開催。県外学生に地元情報を提供する SNS のリーフレット配布
地域産業の未来を拓く人材育成推進事業	ものづくり産業を支える人材育成のため、若手社員の職業能力開発に関する意識調査や、南信工科短期大学校の見学会を実施

4 地域発 元気づくり支援金

(1) 事業区分別交付実績 (令和2年度)

(単位：千円)

事業区分		件数	金額	内容例
1	地域協働の推進	1	566	観光ウォーキングイベントの開催
2	保健、医療、福祉の充実	4	2,618	フリースクールやこどもカフェの開催
3	教育、文化の振興	7	4,324	中学生向けキャリアフェスの開催
4	安全・安心な地域づくり	0	0	
5	環境保全、景観形成	2	4,974	中央アルプス国立公園フォーラムの開催
6	産業振興、雇用拡大	15	26,239	
	(1) 特色ある観光地づくり	8	17,857	観光情報発信を担うライターの養成
	(2) 農業の振興と農山村づくり	2	1,877	在来種ソバの保冷設備の整備と情報発信
	(3) 森林づくりと林業の振興	1	1,436	森林への親しみを深めるイベントの開催
	(4) 商業の振興	2	1,480	商店街のランチメニューブックの制作
	(5) その他	2	3,589	理工系人材応援教室の開催
7	市町村合併に伴う地域の連携	0	0	
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	3	863	地元就職促進イベントのオンライン開催
合計		32	39,584	
《参考》 平成30年度交付実績		55	67,389	
令和元年度 //		63	69,260	

(2) 重点テーマ交付実績 (令和2年度)

(単位：千円)

重点テーマ		件数	金額
県全域	信州こどもカフェの推進	2	821
	信州ACE (エース) プロジェクトの推進	2	979
	地域防災力の向上	0	0
上伊那	県内高等教育機関の知の活用	1	2,190
	若者のUIJターン就業の促進	1	1,214
	リニア中央新幹線の開業を見据えた交流、移住・定住の推進	7	12,566
	上伊那の特色ある産業・文化を担う人づくりの推進	3	2,690
合計		16	20,460

(3) 優良事例 (令和元年度)

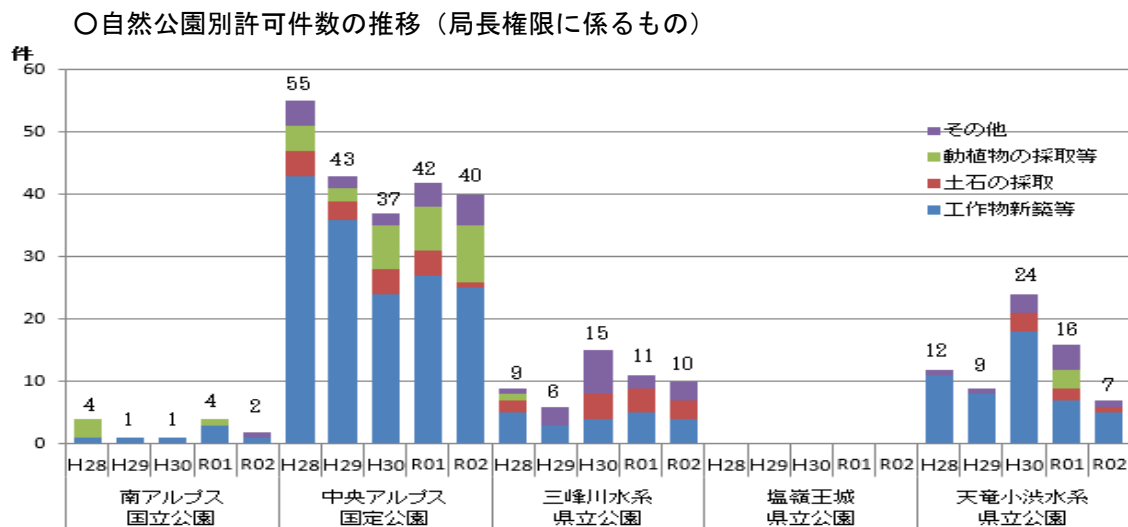
賞名	事業名	実施団体
知事表彰	西箕輪山麓マウンテンバイクフィールドプロジェクト	西箕輪地域協議会
地域振興局長表彰	坂バカ集まれ!中山間地を漕いで走って村おこし事業	信州なかがわ陣馬形山ヒルクライム実行委員会
	こまがね健康ステーション スマホアプリの開発と野菜を増やそう!イベントの開催	駒ヶ根市

1 自然保護

上伊那は南アルプス、中央アルプスの二つのアルプスと河岸段丘からなる雄大な自然を有しています。これらの自然環境を保護し活用するため、自然公園法、長野県立自然公園条例、長野県自然環境保全条例等により、一定の行為が規制されています。

(1) 自然公園法、県立自然公園条例に基づく許可及び協議件数

過去5年間の許可等の状況は以下のとおりです。工作物新築等の主なものは、山小屋や登山道整備、電気事業者の施設改築などに係るものです。



（出典：上伊那地域振興局調）

(2) 登山道等整備に係る補助実績（令和2年度）

「中央アルプス国定公園重点整備支援事業補助金」等を活用し、道標整備や登山道の改修等を行いました。（5団体8箇所）

山 域	箇 所	整備内容	実施主体	補助率
南アルプス国立公園	駒赤石縦走線等	道標作成	伊 那 市	1/2
〃	大平仙丈岳線	道標作成	長谷山小屋組合	10/10
中央アルプス国定公園	熊沢岳縦走路等	登山道整備	駒ヶ根市	2/3
〃	摺鉢窪避難小屋	屋根改修	飯 島 町	72.5/100
〃	摺鉢窪避難小屋線登山道	登山道補修	飯 島 町	2/3
〃	千人塚公園	看板整備	飯 島 町	2/3
〃	宝剣岳周辺	計画調査	宮 田 村	2/3
〃	千人塚公園	休憩施設等整備	飯 島 町	72.5/100

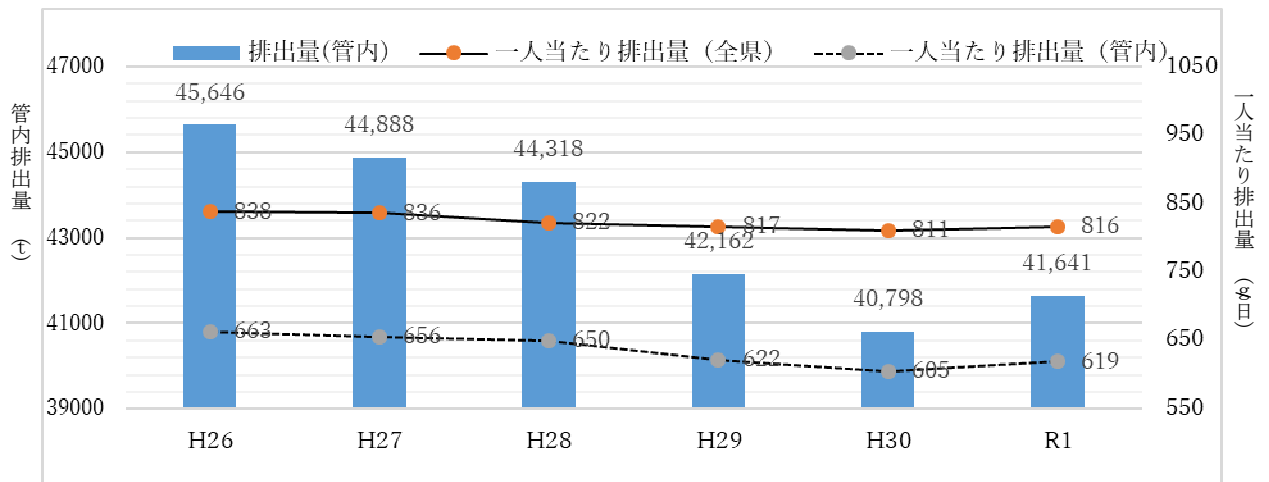
（出典：上伊那地域振興局調）

2 廃棄物対策

(1) 一般廃棄物対策

管内市町村における一般廃棄物の排出量は以下のとおりです。一般廃棄物の処理は上伊那広域連合に一本化して実施しており、ごみ処理広域化計画及びごみ処理基本計画に基づき、可能な限りの排出抑制・再資源化・減量化を図るとともに、これまで使用していた2つのごみ焼却施設に代わる新しい「上伊那クリーンセンター」が平成31年3月に整備されました。

○一般廃棄物排出量の推移



(出典：上伊那地域振興局調)

(2) 産業廃棄物対策

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業者数は、以下のとおりです。産業廃棄物処理業者、処理施設等へ立入を行い必要に応じ指導を行っています。

○産業廃棄物処理業者数

(令和2年度末)

区分	県全体	管内				
		上伊那	南信州	木曾	計	
産業廃棄物処理業	収集運搬業	3,503	279	364	108	751
	処分業	265	41	29	8	78
特別管理産業廃棄物処理業	収集運搬業	384	29	41	9	79
	処分業	8	1	2	0	3
合計	4,160	350	436	125	911	

※県全体は長野市を除く

(出典：上伊那地域振興局調)

○立入検査件数

(令和2年度)

区分		管内			
		上伊那	南信州	木曾	計
立入検査	事業者	987	763	278	2,028
	施設	75	107	19	201
指示書交付	事業者	8	19	2	29
	施設	0	0	0	0

(出典：上伊那地域振興局調)

1 上伊那の農業農村整備状況

(1) 管内概況

上伊那地域の農地は、天竜川及び三峰川の沿岸に広がる水田地帯と、西部に広がる畑地帯に大別されます。

管内の水田整備率は93.8%（県85.4%）、畑地整備率は60.8%（県35.0%）、畑地かんがい施設の整備率は56.8%（県27.8%）に達し、県全体（平均）の整備率を大きく上回っています。

<水田地帯>

昭和初期より県営かんがい排水事業等で農業水利施設の整備が進められ、安定した農業用水が確保され、昭和40年代からは、県営ほ場整備事業等により農業生産性の向上と農業構造の改善が進みました。

※ 担い手に農地を集積・集約する圃場整備を行い
農作業の効率化が図られた水田
経営体育成基盤整備事業
宮の前地区（駒ヶ根市）



<西部畑地帯>

昭和40年代から50年代にかけて、国営かんがい排水事業及び県営畑地帯総合土地改良事業により整備され、野菜や果樹を中心とした農業経営が展開されています。

※ 施設整備により収量や品質が安定した果樹
県営畑地帯総合土地改良事業
伊那西部地区（伊那市）



2 長野県農業農村整備計画における3つの施策体系に沿った事業展開

➤ 上伊那管内全体の事業実施状況

令和3年度 当初 事業費 21億6,552万円（令和2年度比 105.7%）

令和2年度2月補正+3年度事業費 = 25億3,152万円

施策体系① 稼ぐ農業を支える基盤整備の推進

生産基盤

【経営体育成基盤整備、かんがい排水 等】

- 農業用水を安定供給するための農業水利施設の長寿命化
 - 長寿命化計画策定の推進
 - 長寿命化計画に基づく対策の推進
- 効率的な生産を支える農地の整備
 - 生産性の向上を目指した農地の整備
 - 農業用水管理の省力化の推進

※春富6号地区 用水路（伊那市）



➤ 上伊那管内の実施状況

県 営：かんがい排水事業 春富6号地区 他 2地区 152,000千円

施策体系② 持続的な農業生産活動を支える基盤づくり

農地防災

【農村地域防災減災対策、地すべり対策 等】

■農村の暮らしを守る防災減災対策

- ため池の安全対策の推進
- 地すべり防止施設の長寿命化の推進

農村整備

【農道整備、多面的機能支払 等】

■持続的な営農を支える農地等の整備

- 地域の特徴を活かす生産基盤と生活環境の整備

■多様な主体の参画により進める多面的機能の維持

- 農業生産活動の維持と地域資源の保全に向けた活動の支援
- 農村を支える多様な人材確保への支援

➤ 上伊那管内の実施状況

県 営：農道整備事業 飯島地区 他 21地区 707,695千円

団体営：長寿命化防災減災事業 西天竜2期地区 他 130地区 1,305,827千円

※深堤ため池（飯島町）



※農道 伊那西部2期地区（伊那市）



施策体系③ 地域の強みを活かした農村景観や地域資源の活用

■信州の農業資産が有する魅力を観光や学びに活用する取組の推進

- 地域学習への活用による郷土愛の醸成
- 観光へ活用することによる多面的機能への理解の促進

➤ 上伊那管内の実施状況

農地整備課では、上伊那管内の農業水利施設の歴史や役割、農業の大切さを学習する「農業用水探検隊」を平成19年度から開催しており、令和元年度までの13年間で、4市町村（伊那市、辰野町、箕輪町、南箕輪村）の9小学校（延べ2,995人）と伊那北高等学校（36人）の生徒が参加しました。

※伊那西部第1揚水機場の説明



■農業用水を活用した小水力発電の導入促進

- 農業用水や水利施設を活用した小水力発電施設の導入促進

➤ 上伊那管内の実施状況

小水力発電施設の建設：

美和発電所 12kW（平成27年稼働）

春富水力発電所 197kW（平成29年稼働）

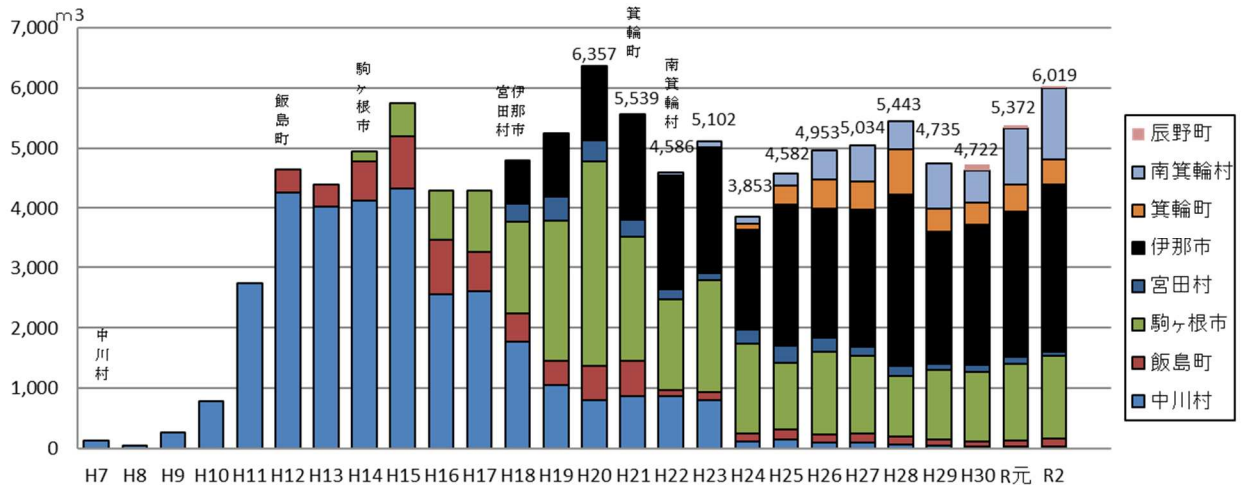
※春富水力発電所（伊那市）



1 災害に強い森林づくり

◎松くい虫被害対策

被害量の推移



防除対策の実績 (R2年度)


区分	伊那市	駒ヶ根市	辰野町	箕輪町	飯島町	南箕輪村	中川村	宮田村	計	
被害量 (m³)	2,782	1,370	33	419	126	1,180	45	64	6,019	
補助事業	駆除量 (m³)									2,946
	薬剤散布 (ha)									38.0
	樹種転換 (ha)									31.4
	地上散布									2.0
税推進支援金等(伐倒駆除) (m³)	125				28.0				153.0	
森林環境譲与税活用事業(伐倒駆除) (m³)			28						28	
市町村単独等(伐倒駆除) (m³)	126	104	5	1	0	22	18	6	282	
事業費 (千円)	206,370	34,618	1,285	29,001	3,388	33,925	1,256	14,344	324,187	

注：被害量は令和3年3月末現在

資料：上伊那地域振興局調

◎治山事業の実施状況

(単位：箇所、千円)

区分	R元年度実績		R2年度実績		備考
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	
山地治山	(3)	(53,518)	(6)	(178,475)	復旧治山、緊急総合治山、緊急予防治山、緊急機能強化、予防治山
	6	128,994	10	320,226	
水源地域整備	(2)	(62,516)	(5)	(161,976)	奥地保安林、保安林改良、保育、水源森林再生
	4	125,373	6	168,213	
地すべり	-	-	-	-	
機能強化	(1)	(12,300)	(-)	(-)	
災害関連緊急治山	1	12,300	3	30,617	
	1	204,010	3	21,588	
県単治山	(1)	(3,942)	(7)	(21,973)	
	10	30,943	24	82,576	
計	(8)	(336,286)	(18)	(362,424)	谷止工(R2復旧治山)
	22	501,620	46	623,220	

資料：上伊那地域振興局調

注：令和元年度実績欄の()は、平成30年度の繰越件数・繰越金額で内数

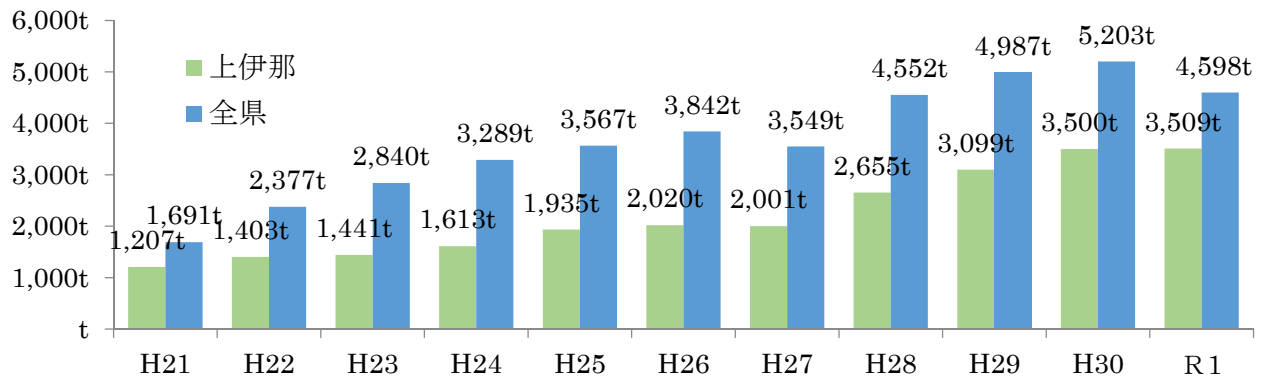
令和2年度欄の()は、令和元年度の繰越件数・繰越金額で内数

2 地域の木材利用の促進

◎木質バイオマスエネルギーの利用促進

ペレット生産量の推移

資料：林務部及び上伊那地域振興局調



ペレットストーブ、ボイラー管内導入状況

(単位：台)

区分		市町村		県		国	個人・会社	森林組合	計
		役場等	保・幼・小・中	合庁等	高校				
ストーブ	補助分	34	(22) 221	8	12		(10) 255	(8) 28	(40) 558
	その他	9	9	1		4	(4) 80	17	(4) 120
	計	43	(22) 230	9	12	4	(14) 331	(8) 45	(44) 678
ボイラー	補助分	2	(1) 11	1			1	1	(1) 16
	その他		4				6		10
	計	2	(1) 15	1			7	1	(1) 26

資料：上伊那森林組合調 (R2. 3. 31 現在) () は R1 導入分、内数



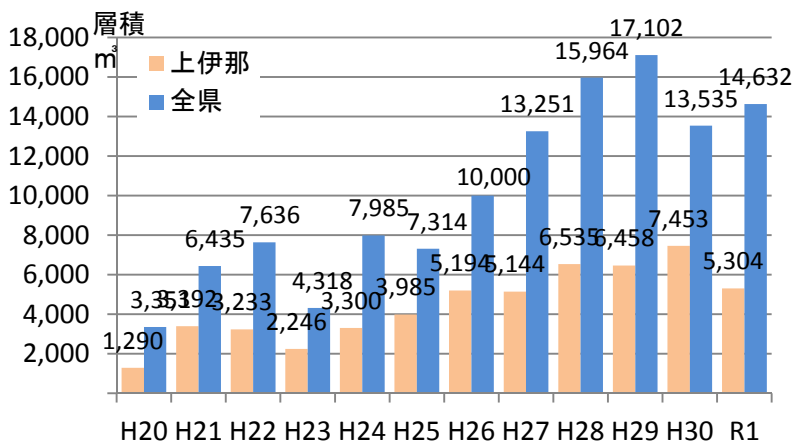
ペレットボイラー



ペレット工場

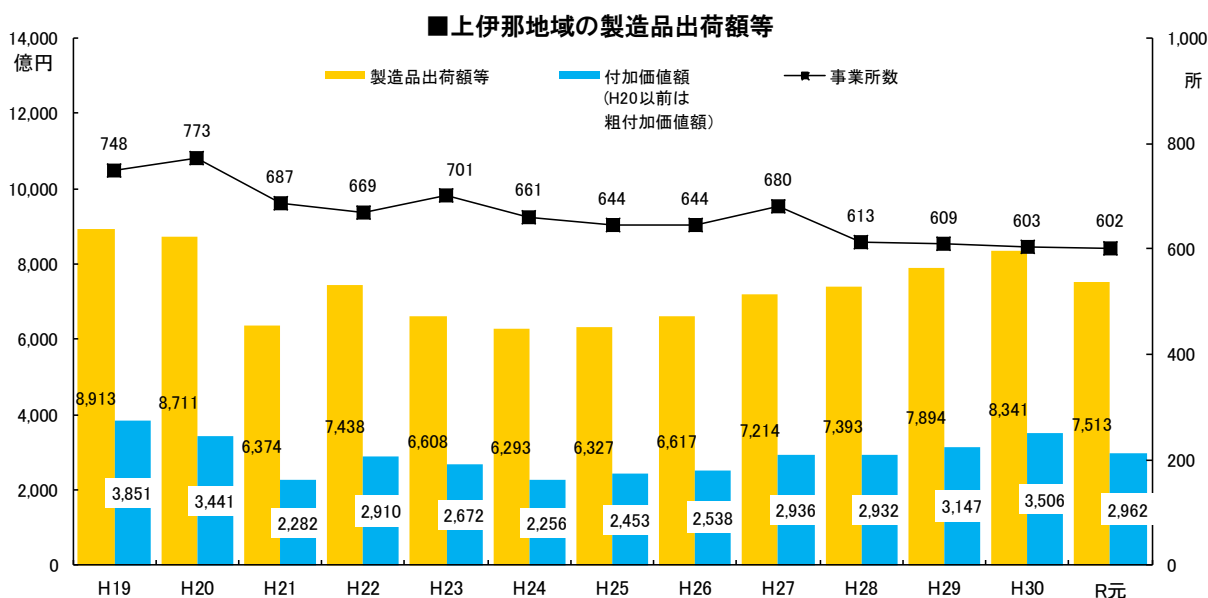
【薪生産量の推移】

資料：林務部及び上伊那地域振興局調



1 製造品出荷額等の状況

管内製造品出荷額等は、世界経済悪化の影響を受け平成20年から21年にかけて大きく減少しました。その後、平成21年からは、増加傾向でありましたが、令和元年には、減少しています。



令和元年の製造品出荷額等（速報）

（事業所数・従業者数はR2.6.1時点、製造品出荷額等はR元年1月～12月）

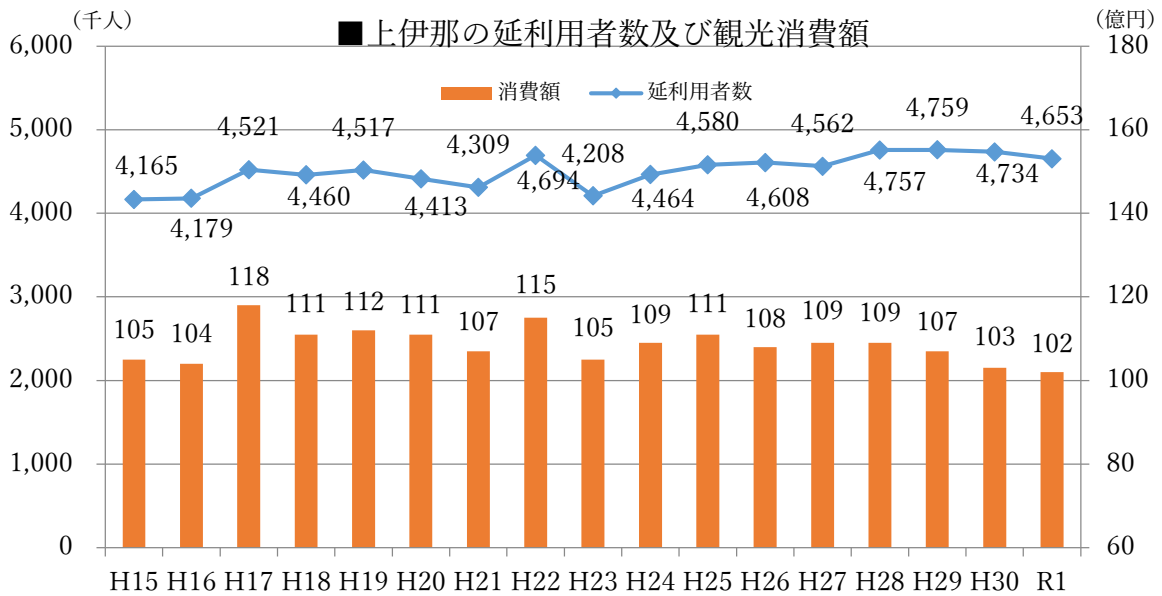
	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	所	前年比 %	人	前年比 %	百万円	前年比 %
伊那市	135	99.3	6,305	101.7	184,054	96.2
駒ヶ根市	105	101.0	5,124	97.0	157,136	91.5
上伊那郡	362	99.7	15,663	98.1	410,064	87.1
辰野町	83	98.8	4,634	97.3	114,738	98.7
箕輪町	134	100.8	4,630	98.4	137,143	88.0
飯島町	39	102.6	1,934	104.8	51,415	101.6
南箕輪村	48	98.0	1,886	94.7	52,385	58.0
中川村	12	92.3	241	80.6	4,001	99.2
宮田村	46	100.0	2,338	98.9	50,382	93.4
計	602	99.8	27,092	98.7	751,254	90.1
県計	4,758	98.7	202,007	98.7	6,153,146	95.3
対県比	12.6		13.4		12.2	

（出典：経済産業省「工業統計調査」）

2 観光地の利用者数及び観光消費額

令和元年観光地利用者統計調査によると、管内利用者数は465万人、観光消費額は102億円となっており、令和元年と比べると、利用者数、観光消費額ともに僅かながら減少しているものの、ほぼ現状を維持しています。

来訪した観光客は県外客の割合が44.0%（長野県64.2%）、宿泊客の割合は14.7%（同32.6%）となっており、ともに県下10圏域で最も低く、身近な日帰り型の観光形態となっています。







○令和元年度 主な観光地の利用者延数・観光消費額（上位10地点）

観光地名	延利用者数 (百人)						観光消費額 (千円)	
	総数	前年比	県内・県外別		日帰り・宿泊別		消費額	前年比
			県内	県外	日帰り	宿泊		
上伊那管内総数	4,653	98.3%	2,605	2,048	3,969	684	10,199	99.1%
大芝高原	597	92.5%	576	21	560	37	464	95.2%
伊那西部高原	586	100.4%	338	248	565	21	977	104.4%
駒ヶ根高原	485	92.6%	145	340	229	256	2,899	97.6%
光前寺	346	95.6%	104	242	346	0	173	95.6%
高遠城址公園	341	127.0%	134	207	322	19	501	106.9%
羽広	330	97.3%	193	137	312	18	688	102.3%
ながた自然公園	295	100.3%	197	98	274	21	315	91.3%
道の駅花の里いじま	200	97.0%	140	60	200	0	233	94.9%
中央アルプス駒ヶ岳	196	91.3%	58	138	182	14	1,159	96.4%
荒神山公園	164	100.8%	134	30	134	29	342	100.8%

(出典：長野県「観光地利用者統計調査結果」)

1 農畜産物の生産状況

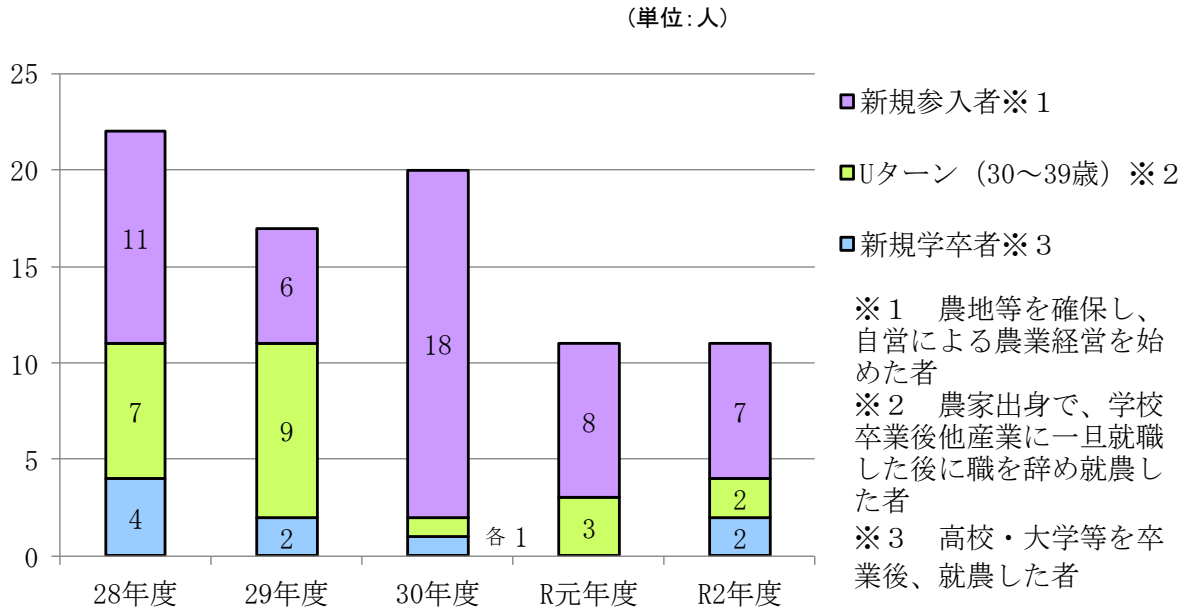
<p>米穀</p> 	<p>米は、コシヒカリを中心に栽培されており、単収(606kg/10a(令和2年産))及び1等米比率(94.6%(令和2年産))は、全国でもトップクラスとなっている(注)。(注:水稲うるち玄米)</p> <p>また、環境にやさしい減化学肥料・減農薬への取組が進められるとともに、JAでは、中食、外食向け業務用米の契約栽培の拡大を図っている。</p> <p>麦、大豆、そばは、転作作物として営農集団による栽培が進められている。</p>
<p>野菜</p> 	<p>アスパラガス、白ネギ、ブロッコリー、スイートコーンを中心に生産振興が図られている。また、キュウリ・イチゴなどの施設栽培や、集落営農組織を中心としたキャベツ・ジュース用トマトなどの業務用野菜にも取り組んでいる。</p>
<p>畜産</p> 	<p>本県の生乳生産量の20%を占める酪農を中心に、肉用牛・養鶏・SPF種豚などの生産が行われている。自給飼料生産にも積極的に取り組んでおり、飼料生産請負集団の組織化も進んでいる。また、耕畜連携による飼料稲(WCS)・飼料米の利用にも取り組んでいる。</p>
<p>きのこ</p> 	<p>ぶなしめじを中心に、えのきたけ、なめこが大型法人により生産されている。生産性が高く、よりコストが抑えられる培地に工夫したり、消費電力の小さいLED照明の導入を図るなど、低コストで生産性の高い経営の実現に取り組んでいる。</p>
<p>花き</p> 	<p>県内生産量の73%を占めるアルストロメリアやカーネーション、トルコギキョウ、リンドウ、シンテッポウユリ等の切り花、シクラメン、洋ラン等の鉢花をはじめとして多くの品目が生産されている。標高差を利用した同一産地内リレー出荷や、オリジナル品種の導入による栽培が行われている。</p>
<p>果樹</p> 	<p>りんごとなしを中心に、ぶどう、もも、柿、ブルーベリー、栗等が栽培されている。</p> <p>りんごは、晩生種の「ふじ」から中生種(シナノスイート、シナノゴールド等)、早生種(夏明、シナノリップ)への品種更新が進められるとともに、省力栽培の普及に向けて高密植栽培等への取組が進んでいる。</p> <p>なしは「南水」を中心に「幸水」「豊水」が栽培されている。また県のオリジナル品種として食味が良い「サザンスイート」の栽培への取組も始まっている。</p>

2 担い手の確保、育成状況

(1) 新規就農者（40歳未満）の確保状況

上伊那地区新規就農促進連絡会議を核として市町村やJAとの連携を図りながら、国や県の支援制度などを活用し、新規就農者の確保を進めている。

好不況の影響により、相談者数及び新規就農者数は年度による変動が大きい。

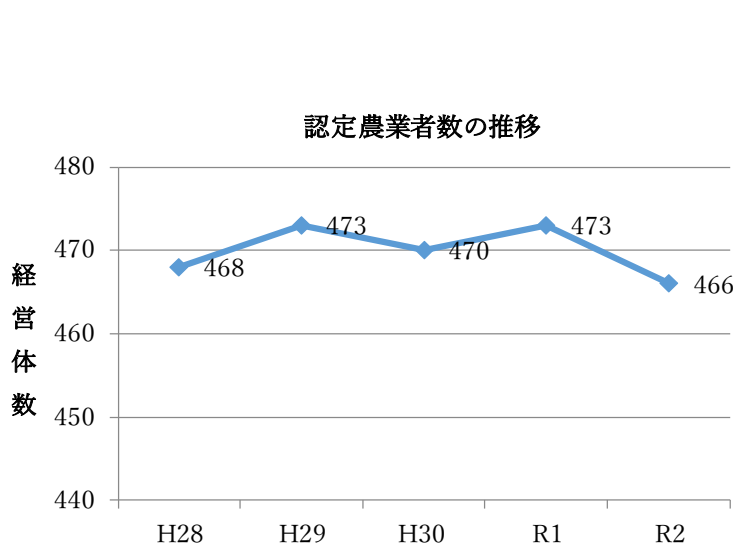


資料：上伊那農業農村支援センター調

(2) 認定農業者数の状況

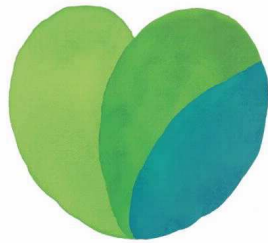
認定農業者であることや認定農業者数が、国の経営所得安定対策等補助事業の要件となったことから、認定農業者数が増加傾向にあったが、平成28年度以降横ばい傾向となっている。

今後も認定農業者制度が国の政策の中心となってくことを踏まえ、支援を進めて行く。



資料：上伊那農業農村支援センター調

市町村名	令和2年度末	
	認定農業者数	うち法人
伊那市	172	47
駒ヶ根市	79	19
辰野町	18	5
箕輪町	35	4
飯島町	57	14
南箕輪村	37	7
中川村	44	10
宮田村	24	5
合計	466	111



しあわせ信州